

第18回都市とふるさとを結ぶ交流会

ひろば大代

NO.288

大代公民館

H15.7.23

大代高山会

大代高山会では、お盆に帰省される皆さんをお迎えして、都市とふるさとを結ぶ交流会を開催致します。

今回はバス2台で、今話題の三瓶埋没林と世界遺産登録をめざしている大森銀山の間歩を観覧した後、公民館で懇親会をすることに致しました。

多数ご参加頂き交流を深めて頂きます様お知らせ致します。

- 一、日時 8月15日(金)
- 一、服装 動きやすい服&運動靴(歩くため)
- 一、当日会費 二千元
- 一、旅程 バス2台(百名)

- ① 三瓶小豆原埋没林
- ② 大森龍源寺間歩
- ③ 大代公民館帰着 午前12時頃

- 一、交流及び懇親会午後3時まで
- 一、神楽 大江高山神楽社中6時
- 一、盆踊り大会 午後8時から

場所 大代公民館広場

尚、観覧はせず懇親会だけ参加する事も出来ますので、町民の皆様、是非早めに予約をして(弁当のため)ご参加下さい。

消防団小型ポンプ

操法訓練大会三位入賞!

右原 斎藤和憲



事の発端は一本の電話からでした。

「今度の操法出てくれないかな?」思おもよらぬ内容に「えっ、うそでしょ?」と聞き返す程の驚きでした。

さらに班の集まりでも話題になり、話を聞いているうちに、早く経験した方が良いのかなあと思うようになり、後日選手として参加する事を正式に伝えました。

自分は、一番員として合同訓練に参加し、消防署員の操法を見た実感として、この動作を一カ月で出来るように

するのかわという事でした。大代での訓練は、ストレッチ、ランニングの次に整列訓練、通しをしてから、各々悪い箇所を直して行く方法でした。

ホースがまっすぐに伸びなかったり、ホースの連結が上手くいかない事やタイムが縮まない事で、かなりいらして何もう考えられない時期もありました。

しかし、それも選手のサポートとして毎日のように来てくださる先輩方からのアドバイスもあり克服する事が出来、また失敗しても思いつきやると思う気持ち良かったらしく、緊張がほぐれ大会に集中する事が出来ました。結果は、三位と自分でも驚くほどの好成績を納める事が出来ました。

最後に、応援して下さいました団員、町民の方々にお礼を申し上げます。

大田三中の総合的な体験学習

今、小中学校では、地域の人との交流をする事を通して、温かい心を育てたり、感謝の気持ちや地域に対する愛

情を持つ事ができるように総合的な体験学習が行われております。

この度、大田三中では大代はぐるま会のそば打ちを体験したいグループが9名あり、講師として3名が招かれ、若人との交流で高齢者も張り切って張り、楽しい一日を過ごしました。

学校からのお礼の言葉と生徒の感想をお寄せ頂きましたので紹介します。

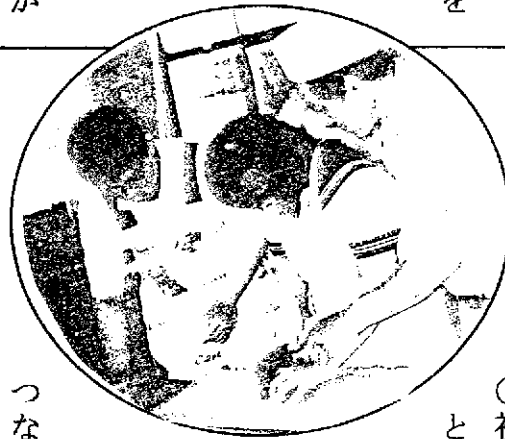
学校から

ほとんどの生徒が初めての体験でしたが、教えて頂いたことや見せて下さった手本から、自分たちなりに精一杯取り組むことができました。全員がすべての工程を体験することが出来ました。家庭でも挑戦してみたいと言う生徒もおります。はぐるま会ならではの十割そばを美味しく頂きました。

生徒のそば打ち体験の感想

○初めてのそば打ちをしてみて、見た目は簡単そうだったけれど、実際やってみると練ったり切ったりするのはとても難しかったです。でも、みんな協

力して美味しいそばが出来て良かったです。また、やる機会があったら、チャレンジしてみたいです。初めて知ったことは、そば粉をねって、そのかたさが耳たぶぐらいのかたさなんてびっくりしました。



○初めての挨拶の

とき、アドリブ

でしたが、う

まく言った。

もう少し計

画を立てて

行動すれば

良かった。何

時ものそばは

つなぎを混ぜると

言うことを初めて知りました。今度お店のとくらべてみたいです。

○初めてだったけど、思っていたよりはうまく出来たかなと思えました。でも、こねたり、切ったり、のぼしたり、

すごく難しかったです。今日は、いろんなことを学べてとてもいい日(時間)でした。また、機会があったら今日より上手に出来るようにがんばりたいです。講師の先生方はとてもすばやくて

すごいなと思いました。切ったりするのは意外と難しいことでしたが、楽しかったです。

○講師の人に教えてもらって美味しいそばが出来たから良かった。一回やったことがあったから少し自信があったけれど、やってみると難しかった。そばを切るのは太さがバラバラでうどんやそうめんみたいなのが出来たけれど、おいしく出来た。

○初めてそば打ちをやって難しい部分がありました。おいしかったです。こねるのに力がいって、つかれました。これから作る機会があれば、作ってみたいですね。講師の先生方、本当に有難うございました。

○みんなと協力してうまく作れてよかったです。また機会があれば作りたいです。わからないことがあったけれど、講師の先生に教えてもらってほぼ完璧に近づいたので良かったです。

○なんとなくきれいに出来ました。食べたらおいしかったです。切るときに大きくなったり、小さすぎたりしたので、今度はチャンとしたいです。耳たぶくらいな硬さにするといいいいこ

とと、切るときにあまり力を入れてはいけないうことなどを教わりました。

○こねるのが楽しかった。おいしく食べれた。

○切るのが難しかったです。おいしかった。講師の方に詳しく教えてもらってうまく出来た。そば粉をこねる時に、熱湯をはじめ入れてやることを初めて知りました。そば粉をこねて耳たぶくらいのかたさにするのが難しかったです。

〔まなび大学〕

Ⅱ 子供たちと共にⅡ

グラントゴルフ同好会 高崎 章

公民館のお世話で、平成14年度より学校週5日制の対応事業として始まった学び大学の一環として、グラントゴルフを会員と子供たちと共に実施している。

現在会員は16名で年齢差は20歳以上もあるが、会員は和を最も大切に考え、練習に励んでいる。会員のほとんどが子供たちの祖父母の年齢であり、まして、少子化の中で子供に縁のない者が

多い状況であるが、子供との交流場は他にあまり無いので練習の一時を大切に過ごしたいものと考えている。

技術の面では経験者とは違いがあるが、のびのびと思いい切りの打球が何よりうれしい。

中には非常に上手な子供もいるので会員には刺激になっている。

スポーツはルールを守ることが大切であることを厳しく指導しているが、大人も反省の場として受け止めてもらいたいものである。

出雲市の古志コミュニティ

センターより研修視察に来町

出雲市の古志コミュニティセンター事業委員会の町づくり部の一行7名が、6日、「二万円札の会」と「はぐるま会」の活動状況について視察研修に来町されました。

出雲市は、大田市の公民館に当たる組織がコミュニティセンターで、市長部局に所属して、社会教育と町づくりの事業を行っており、他の市町村と異

なった組織活動をし、注目されている市です。

その事業委員会の町づくり事業部の部長を、樺自治会出身の花田薫さんがされておられる縁で、今回の視察先とされました。

二つの会の現在の活動状況をお話した後、紙すきの体験とはぐるま会が打ったそばを食べて頂きながら、今後も引続いて交流を行い、お互いの町の活性化を実践していくことを約束して研修を終えました。

虹

テノール・リサイタル66に乾杯!

関西高山会副会長 中本 弘

関西高山会会長であり、ふる里が生んだすばらしいテノール歌手田中公道氏が、6月15日大阪城近くのいずみホールで約千人の観客のなかでテノールリサイタル66を開催された。

彼いわく、2003年66歳こそ初心にかえり、はばたく日であると自覚し

たと位置付けられた。

彼のすばらしい高音の魅力はすでに「知る人ぞ・知る」である。ずぶの素人の私でさえ、文句なしに魅了された一人である。

さて、すばらしいテノールの声はいったいどこからくるのか次の三点にしぼってのべたい。

○まず彼自身、女性が好きである。

彼がそのことを話すとユーモアたっぷりである。いやらしさが聞こえない事である。日本だけでなく、世界の国々に出かけていき、リサイタルをされるがその理由を聞くと女性が好きであると答えられる。

○次に一生懸命精神である。

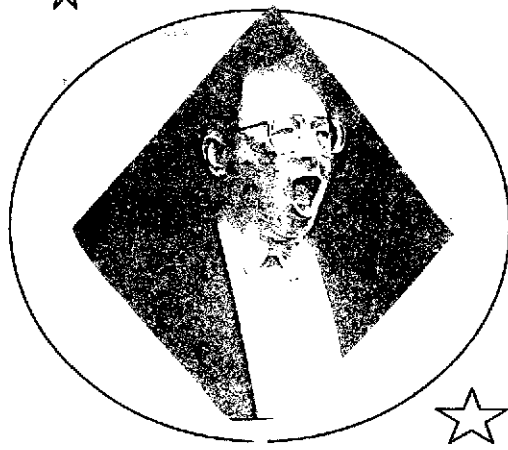
リサイタルする度に舞台での自信半分、そしてあとの半分はこれで最後かもしれないの不安にかられる。それが毎回「命と命のひびきあい」を感じるのとことである。

○自信に裏付けられる好奇心である。

次の公演は南米のチリで、7月16日～8月27日までの予定とのこと。日本

人生夢ありて青春に乾杯！

と全然異なった気温・陸地の高低差・食べ物等考えると大変である。しかし、彼は「やりましょう」ときっぱりと断言した。



あるテレビの番組に、天才とは、本人のケタはずれの努力と好きでたまらないの2つの要件が必要であると聞いた。彼の人生には感激・感動がぎっしりつまっている。

青春とは、人生の或る期間を言うのではなく心の様をいうのだ。サミエル・ウルマン「青春」より

私は今回で彼のリサイタルに3回出席させてもらいその都度感激した。彼はだんだん元気になる感じがする。そして感激・感動が伝わってくる。

パソコン初級者

講習会のお知らせ

公民館では初級者の方を対象にIT講習会を次の日程で開催いたします。参加費無料です。先着10名

◎日時 8月21日 22日

午後7時～午後10時

場所 大代小学校屋体ミーティングルーム

申し込み締切り8月8日(金)

公民館までお早めに

8月行事予定

▼ 5日(火) 子供会

▼ 15日(金) 都市交流会

▼ 19日(火) さくららんぼ教室&子供会

▼ 21日(木) 胃がん検診

▼ 23日(金) 連合自治会

一年前の高山登山での

出来事から

山口県森林インストラクター

橋本 順子

いきさつ

今日は、ギフチョウが縁で、大代公民館長の横手さんに呼んでいただきました。

昨年のことですが、花好きの山友達から、「大江高山はイズモコバイモヤミスミソウが咲く花の山だよ」と薦められて、ちょうど一年前の4月12日に、友達と二人で、飯谷の山辺神社からのぼりました。

飯谷からの急な稜線には、イカリソウやシジュンランが咲いていまして、二人でワアキヤア言いながら登っていたら、目の前にヒラヒラ飛んでいくものがありました。よく見たらそれがギフチョウだったわけです。

私は大江高山にはギフチョウがいる、と認識していたわけですが、見るのは初めてでしたので、「ワア、ギフチョウだ、あつちにもこつちにも……」と喜んで浮かれていたら、突然目の前に大きな捕虫網を振り回している若い男が現れました。

ギフチョウはレッドデータブックの記載種と知っていましたし、(環境庁のレッドデータブックでは危急種、広島県のレッドデータブックでも危急種になっていきます。島根県は?)、私の住んでいる隣の町ではギフチョウ保護条例があり、棲息地を捕獲禁止にしていますので、つい「ここではギフチョウを捕っていい所ですか?」と聞いてしまいました。

そしたらその若い男は平然と、「いいですよ」と言い放ちました。

おかしいな、と思いながら頂上に着くと、樹の枝に青いポリ袋がぶら下げられてその中でギフチョウが何頭もバタバタしているのが見えました。

頂上に着いたらよくする記念写真。

ご多分にもれず、私達も写真を撮っていたら、その男も頂上にやってきて、

私達の目の前で捕虫網をこれ見よがしに振り回しはじめました。たぶん、私達がポリ袋のギフチョウを逃がしたりしないよう見張るためだったのでしよう。

その男は目つきも悪く、傍若無人な態度に怖さを感じた私達は、ザツクをおろす間もなく、すぐに頂上を出発しました。その男が追ってこないか後を振り返りながら猛スピードで歩き、ようやく山田側の休憩所で昼食を取るこゝとができました。

私は山歩きを始めて十年、一人でツキノワグマの棲息地である西中国山地の山々を鈴もつけずに歩いていますが、ツキノワグマを怖いと思った事はありません。今まで三度ほど遇いましたが、クマよりその男の方がよっぽど怖かったです。

ご存知でしょうが、大江高山の頂上は見晴らしがいいそうですよ。でも私達は男怖さに頂上をすぐ後にしましたから、私はまだ大江高山からの眺めをしりません。

山田登山口に下りると、神戸ナンバの車が停まっっていて、ほどなく男が

下りてきて乗り込みました。で、ナンパーを覚えていて、大田市役所に「大江高山で・・・」と電話しました。

私は手紙魔ですから、電話だけではもの足らず、手紙を書いたのです。かくかくしかじかと、そしてこのままギフチョウの捕獲をほっておいたら、そのうち大江高山のギフチョウは絶滅してしまうのではないでしょうか、と。その手紙が、大代公民館長さんの手に届いたようで、お便りを頂き、今日が実現しました。

ついでに、森林インストラクターの先輩が近畿中国森林管理局にいますので、大江高山の大半は国有林ですよ。森林管理局でも生態系保護林とかの網をかけられないかと手紙を書きました。網をかけると自由に捕獲出来なくなりますから。

あとは島根県ですが、私は森林インストラクターのほかにも、自然観察指導員もやっていますので昨年8月、自然観察指導員の島根、広島、山口の3県合同交流会に参加しましたところ、島根県自然観察指導員協議会の会長さんが、島根県庁の景観自然課の課長補

佐、自然保護担当の佐藤さんでしたので、こちらにも大江高山の事をよく頼んでおきました。

ギフチョウは里山の蝶

私は森林インストラクターのはしくれですので、樹木については曲がりなりに勉強しましたが、昆虫はまだ：

でも昨年、ピオトープ計画管理士という、生態系管理の資格試験を受けましたので、昆虫も少しは勉強しました。それによるとギフチョウは雑木林、里山のチョウなんです。

雑木林があつてそこに生えているカンアオイの仲間、大江高山ではミヤコアオイですが、そのミヤコアオイを食べてギフチョウは成長します。だから、ミヤコアオイが育つ雑木林がなくなると、ギフチョウは生きていけなくなるわけです。

ギフチョウに限らず、イズモコバイモヤミスミソウもそうですが、盗っている人に注意すると、必ず、「ここはあなたの土地じゃないだろう。あなたに取るなという権利があるのか」と反撃してきます。

私達は権利を出されると、つい引き下がってしまいますが、ここ大江高山の地元の皆様なら、「盗るな」という権利は充分あります。

「先祖代々大江高山を守ってきたのは自分たち地元の人間だ。ギフチョウが里山の典型的な生き物だということとをあなたは知らんのか。我々が里山を守ってきたからこそ、ギフチョウも生きながらえてきたのだ。盗るなという権利は充分ある。」と胸を張って言うてください。

それでも文句を言うようでしたら、「登山道を整備してきたのも我々だ。そう言うのなら登山道を歩くな」と言うといいと思います。

ただし、これは、こちらが多数の時にしてください。決して一対一の時は声をかけないで下さい。それは島根県の自然観察課の方に注意をうけました。

昆虫マニアは植物マニアより悪質なヤカラが多く、うかつに注意すると何をされるかわからない：なんせ山の中ですから：そう言う場合は、相手の人相、車のナンバーを記憶しておいて警察に連絡してくださいとの事です。

春の女神

ギフチョウは、この時期にしか現われず、「春の女神」と呼ばれています。ギフチョウが動物の「春の女神」なら、植物の「春の女神」はカタクリです。カタクリにギフチョウが止まっている写真、見られた方もあります。

私のフィールドは、島根、広島、山口の県境近くにある寂地山という山ですが、寂地山もカタクリで有名です。

その寂地山には、二十年前から登っています。今は、カタクリのシーズンには、カタクリの花よりカタクリを愛するために登ってきた人の方が多いくらいです。

昔は、カタクリを掘って持って帰る人はけっこういましたが、今は、そういうヤカラはいません。もともと、誰もいないときこそ掘り取るヤカラはいまだにいますが、少なくとも人の前ではしませんし、もし、みんなの前で掘ったりしていたら、それこそ非難ごうごう、袋だたきになるにちがいない。

と、いうふうには、花の「春の女神」

カタクリは、みんなのもの、みんなで愛するもの、という合意ができあがっています。蝶の「春の女神」であるギフチョウは、登山者の前で、傍若無人に捕虫網を振り回して捕獲されています。

つまり、寂地山の頂上で憩っている登山者の前でスコップでカタクリを掘りまくっていると同じことです。

そういう状況を、私たちの力でどうにかしたいと思います。少なくとも花の「春の女神」のようにしたいですね。それは、ひとりの力ではできません。みなさんの力が必要です。

大江高山の麓の大代は：

大江高山のイズモコバイモ：残念ながら、私はギフチョウを盗っている男が怖くて花に目をやるヒマもなかった。のでまだお目にかかっていませんが：ミスミソウにかぎらず、麓の大代にもまだ豊かな自然が残っています。たとえばタンポポ。

今、身近でみかけるタンポポのほとんどが外来種のセイヨウタンポポです。でも、ここには在来種のカンサイタン

ポポが咲いています。

在来種のタンポポが咲くということは、豊かな自然が残っている、という事です。大代の方々は、日ごろから豊かな自然に接していらっしゃいますので、それが大切な財産であるという事に気づかれていないようですが、これはとても大切なことです。

「ここはまだ在来種のタンポポがさいていますよ」と自慢できる状況なのです。今は：

ギフチョウは、その豊かな自然を代表している生き物です。だから、これからは、その豊かな自然を育んできた大江高山を大切にいただき、いつまでもギフチョウの舞う山、イズモコバイモやミスミソウの咲く山であって欲しいと思います。

私たち登山者も、大江高山を守ってきてくださった地元の方々に感謝し、かつ、謙虚な気持ちで自然に接していきたいと思えます。





こどもみこしと
田植ばやしで
にぎわった夏祭り

山根佑介

みこしをかついで大きい声でワッショイと言うとなぜか楽しかったです。

みこしをかつぎ終わってのどが
かれたけど楽しかったです。また
かつぎたいです。



横手昌太

はじめは、らくだったけど、後の方は
つかれましたが、けっこう、おもしろ
く「ワッショイ」といっていました。
あつかったけど、たのしかったです。